

## 妥協を許さず心を込めた仕事に徹する

株式会社丸美内張  
代表取締役 蒲伸一氏

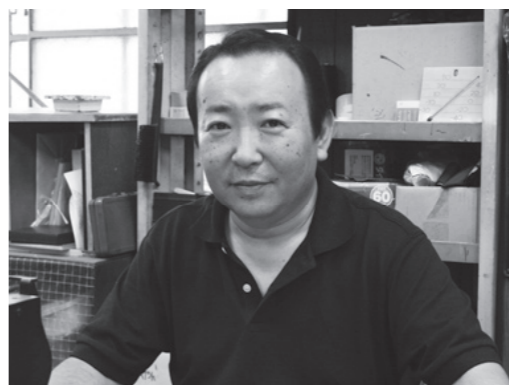
創業より自動車座席等の張替えひと筋の丸美内張。「初心忘れるべからず」という先々代の教えを守り抜き、「妥協することなく、いい仕事をしなければ」と話す蒲伸一社長は、お客様に最高の技術を提供するため、腕を磨き続けています。

### きっかけはアメリカ駐留軍のジープ

創業は、昭和22（1947）年。創業当時の国産車は木枠にスプリング、麻ひも、麻袋の布を張り、ワラのせ最後にレザー張りしたものがほとんどで一見何が出来上がるのか予想も付かない様な材料でした。内張りと言いながら朝から木槌でワラを打つことから始まっ



しのぎ商品を完成させたいです。そして日本が高度成長期を迎え、寝る時間も少ないほど忙

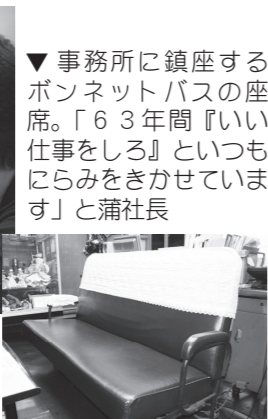


▲「とにかく技術を見ていただきたい」と話す蒲社長

しい毎日だったと聞きました。私自身もそのような中で育ち、学校が休みの時は仕事を手伝う日々が続き、大学卒業と同時にこの仕事に就きました。

### 車の内張りから応接セットまでを手掛ける

ひと言で内張りといっても色々な種類があります。クルーザーやバイクのシート、歯科診療台に応接セットなど様々なものを引き受けています。お客様にとって思い入れがあるものの復元を頼まれることもあります。元通りに甦ったものに対面された時のお客様の笑顔は私たちにとって最高の喜びで



▼事務所に鎮座する座席。63年間『いい仕事をしろ』といつもにらみをきかせていますと蒲社長



▲シートの裏はエアバッグの配線等が複雑に入り組んでいるため、作業は慎重に行う

あり、「いい仕事してありますね」という言葉が次への力になります。出来る限りどんな物でもリサイクルが可能であれば張り替えます。それが自然破壊に歯止めをかけ、物を大切にする心を育てることに繋がるのではないのでしょうか。「いい仕事」とは妥協を許さず心を込めて取り組むことだと思えます。価格を安くしてほしいと求められれば、材料の値段を下げることは出来ませんが、商品づくりに対して妥協は一切しません。当社は最高の技術を売りにしています。同業者から難しい仕事を紹介された時は、職人の血が騒ぎます。いい仕事をすれば、お客様が県外から口コミでお越しいただけます。とてもありがたい事だと感謝しています。

### 63年の歴史を受け継ぐ

苦勞して仕上げた作品が完成した時は喜びが大きく、苦勞を感じることはありません。以前、ゴルフバチヨフ旧ソ連大統領が乗車されるロールスロイスのリムジンの内

装を依頼されました。ロシア調にデザインするよう依頼されたのですが、当初は全くイメージがわからず、絵画やデザインが趣味である母からアドバイスを受け完成させました。当社の事務所には、創業63年の歴史とともに受け継がれてきた古いボンネットバスの座席が鎮座しています。職人が練習のために何度も張替えてきました。この座席を見ると、「初心忘れるべからず」という先々代の教えを思い出します。これからもこの教訓を胸に、妥協のない最高の仕事をしていきたいと思えます。

### Company Data

#### 株式会社丸美内張

本社 ●岐阜市金園町9-13  
電話 ●058-246-2108  
創業 ●昭和22年

事業内容 ●シート張替/ジュータン・マット/ドア内張/天井張替/カーテン(ワゴン・バス・普通車)/シートカバー/幌・シート・ボディカバー/クルーザーの座席シート/バイクシートの改造張替(マリッジジェット同様)/応接セット/各種椅子張替/医療ベッド(歯科診療台等...)/デザインテント